

役割

職務

求められる能力

就労支援員

(就労移行支援事業所の利用者に対し、)
作業訓練や職場実習等を通じて、一般就労に必要な知識の習得及び能力の向上を行うとともに、求職活動の援助を行い、一般就労に送り出す役割

- 一般就労への移行支援
- ・職業準備性や作業遂行能力の把握
- ・ハローワークへの求職登録等求職活動支援
- ・職場実習の受入先の確保
- ・関係機関と連携した職場開拓、職場定着
- 関係機関との連携

- サービス管理者が策定する支援計画に基づき支援ができる。
- 利用者の特性を把握し、関係機関や事業主等に助言することができる。
- 関係機関の役割を理解し、必要に応じて連携することができる。

就業支援担当者

(活動区域内の就職を希望する障害者に対し、)
地域の関係機関と連携し、相談から就職準備、職場定着に至るまで、個々の障害者に必要な就業面・生活面の支援をプランニング・コーディネートする役割

- 一般就労を希望する障害者へのアセスメント
- 個別の支援計画の策定
- 必要な支援のあっせん
- 就職活動・職場定着支援
- 事業主に対する雇用管理に関する助言
- 地域における就労支援のコーディネート

主任

- 個別の支援計画を策定し、支援の進捗管理ができる。
- 担当者に対して指導、助言ができる。
- 地域における就労支援全般をマネジメントし、就労支援ネットワークの構築ができる。

担当者

- 主任が策定する支援計画に基づき各種の支援ができる。
- 地域の関係機関と連携して支援ができる。
- 地域の労働市場を理解し、事業所のニーズを把握できる。

第1号ジョブコーチ

(社会福祉法人等の障害者を理解する側の立場から、)

障害者の職場適応を容易にするため、職場においてアセスメントや事業所内の調整、職場での集中的支援からフォローアップまでのきめ細やかな人的支援を行う役割

- ジョブコーチ支援計画の策定
- 対象者及び職場のアセスメント
- 作業工程の把握と分析
- 職場適応支援
- ナチュラルサポートの形成とフォローアップ

- 支援計画を策定し、支援の進捗管理ができる。
- 経験の浅いジョブコーチに対して指導、助言ができる。
- 新たな仕事の切り出しや職務の再構成ができる。

- 支援計画に基づき、職場適応支援ができる。
- 本人の特性を見極め、わかりやすい適切な指導ができる。
- 職場環境をアセスメントし、事業主への助言や環境整備ができる。
- 支援先事業所を把握し、事業所のニーズを把握できる。

第2号ジョブコーチ

(企業等の受け入れ側の立場から、)

- 支援計画に基づき、職場適応支援ができる。
- 本人の特性を見極め、わかりやすい適切な指導ができる。
- 職場環境をアセスメントし、関係者への助言や環境整備ができる。
- 障害者雇用について事業所内で理解を得る。

- 支援に必要な基本的知識を理解する。
- 企業の障害者雇用の実際を理解する。
- コミュニケーションスキルを身につける。

- 就労支援に関する制度を理解する。
- 就労支援の現場を理解する。

- 就労支援機関の役割と自らの役割を理解する。
- 相談・面談スキルを身につける。

共通
基盤

就労支援担当者の共通基盤について(案)

対象者

就労支援の基本的理念や知識を理解し、実践的なスキルを身につけるべき者

ポイント	主な内容
①支援に必要な基本的知識を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ○職業リハビリテーションの基本的理念 ○就労支援のプロセス ○各障害(身体、知的、精神、発達、その他)の障害特性と職業的課題 ○ケースマネジメントの基本的な概念 ○家族への支援の考え方と障害別の家族支援の方法 ○職業生活を支える支援の考え方と支援の方法 ○個人情報保護
②就労支援に関する制度を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者雇用の現状とトライアル雇用や各種助成金等活用できる制度の概要 ○ハローワークの利用の仕方 ○労働基準、最低賃金等基本的な労働関係法規 ○就労支援と関連の深い障害者福祉や教育関係制度
③就労支援機関の役割と自らの役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ○雇用、福祉、教育等地域の関係機関の役割と連携の仕方 (ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業者、特別支援学校、発達障害者支援センター、難病相談・支援センター、自治体等)
④企業の障害者雇用の実際を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ○就労支援における企業のニーズ ○企業の視点や企業文化 ※障害者を雇用している企業の見学
⑤就労支援の現場を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ※ハローワーク、地域職業センター、障害者就業・生活センター等の見学
⑥相談・面談スキルを身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ○傾聴等カウンセリングの基本 ○把握すべき必要な情報、記録の仕方
⑦コミュニケーションスキルを身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ○話の聞き方、分かりやすい説明の仕方 ○考えの異なる人の立場を理解し、連携する方法 ○プレゼンテーション方法

※ 一般就労への移行の裾野を広げるため、就労支援以外の障害者支援を行う機関や就労支援機関で直接就労支援を行わない者等に対しても、意識の情勢や基本的な知識を習得するための入門的な研修が必要である。